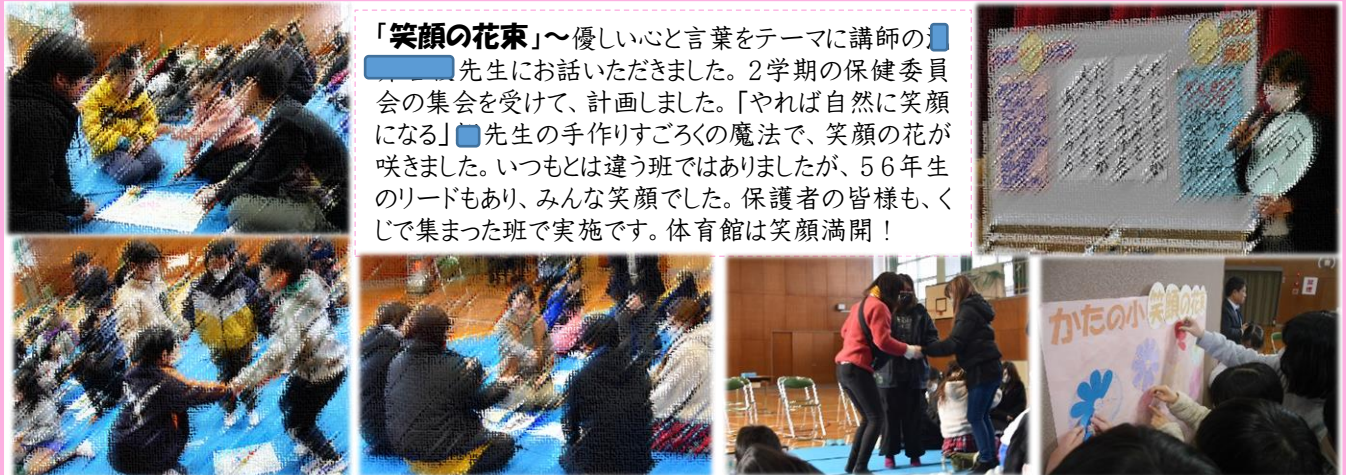


# かたの



R6. 1.29  
形埜小学校  
校長室だより



「笑顔の花束」～優しい心と言葉をテーマに講師の先生にお話をいただきました。2学期の保健委員会の集会を受けて、計画しました。「やれば自然に笑顔になる」先生の手作りすごろくの魔法で、笑顔の花が咲きました。いつもとは違う班ではありましたが、56年生のリードもあり、みんな笑顔でした。保護者の皆様も、くじで集まった班で実施です。体育館は笑顔満開！

◆講師の先生の「なぜ、この項(友達を大切にする)を選びましたか？」の問いに「さんが、「大切に思っ接すれば、相手も大切に思ってくれるかなと思っ…」と答えました。この答えは、心にストンと入ってきました。「なるほど～」と唸ってしまいました…。「誰かの笑顔(幸せ)のために動く」ことは、自分の笑顔(幸せ)につながる。何気ない答えにドキドキしました。◆下駄箱前の掲示板の「笑顔の花束」コーナー、折に触れて確認するとよいかもれません。



## 青空のもと、レベルアップだ、「ちゃうすスキー！」

- ◆見事な青空でした。形埜の空も美しいですが、茶臼の空も清々しく、雪の白さが引き立って、わくわく&やる気スイッチ ON だったことでしょう。スタッフの方のお話によると、1週間前は、雪が少なく土が見える状態だったそうですが、直前の雪で、整ったそうです。絶妙のタイミング！
- ◆スキーの姿を見ていて、いいなと思うのは、「思いつき、転べる」ことかなと思いました。一般的に何においても「転ぶ」ことには抵抗をもつことでしょう。が、スキーは「転ぶ」ことも当たり前、みんな転んでいるし、転んでもそんなに痛くないし、どちらかというと「転ぶことさえ楽しい」という感覚をもった子もいるのではないのでしょうか。何より「転んでも転んでも、チャレンジする」逞しい姿は、「スキーだからこそ魔法」と改めて感じた1日でした。



## 募金活動から

◆集める袋が重さで破れてしまう程のたくさんの募金に、活動した子達も、何かしら感じたようです。自分たちで提案したものの、今までにない形・目的の募金は、どうなるかな？と心配もしていたことでしょう。「やってよかったな。役にたてたかな」と、「誰かのために行動すること」の価値を実感したことでしょう。ご協力ありがとうございました。◆募金は日本赤十字社を通して届けます。担当の悠哉先生から、説明がありました。



**保健検定大人気！**◆保健委員会主催の検定が始まりました。5年生がやっていた「お米検定」をヒントに考案されたものだそうです。保健委員の子が教えてくれた作戦①「検定時間をなかよしタイムに限定する」(お昼の放課は、違うことで遊びたいだろうから)②「折り紙のお守り」の賞品がもらえる。～作戦成功ですね？そんなわけで、なかよしタイム～いつもはにぎやかな運動場、昨日も今日も少し静かです…。

31日の給食メニュー「イカフライ」は、東部給食センターからの指示で、配膳しておりません。後日、補填されます。

### 配布したこのバッジについて



ちかい

「ちかい」は、青少年赤十字の目的に向かって努力することを、自分に約束する言葉です。

ちかい  
 わたくしは  
 青少年赤十字の員として  
 心身を強健にし  
 人のためと郷土社会のため  
 国家と世界ののために  
 つくすことをちかいます

◆岡崎市全小中学校が、加盟しています。この考え方をもって、成長してほしいという願いがあります。  
 また、日本赤十字の父「大給恒」(おぎゅう ゆずる)奥殿藩の藩主についても、豆知識として、知っておきましょう。

わたくしは

赤十字はアンリー・デュナンという人の考えから生まれました。ひとりひとりが自分で考えて行動します。

青少年赤十字の一員として

おとなになってからではなく、小さいうちの活動をおして良い習慣や考え方を身につけるよう努力します。

心身を強健にし

活動には、おもいやりの心と、自分を生かす知識と行動できる体が必要です。

人のためと

人はひとりでは生きていけません。私は人によって生かされています。そしてまた、人を生かすことができます。

郷土社会のため

私の家に、私の村に、町に、市に、そして私の学校に、私を必要としてくれる人がいるはずで。

国家と世界ののために  
つくすことを  
ちかいます

私は宇宙船「地球号」の乗組員のひとりです。他の人たちと協力して、地球家族みんなが幸せに暮らせるよう努力することを決意します。

アンリー・デュナン(赤十字創始者)



教室の全面右に掲示されています

